

2020年6月15日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 詩篇83篇からエゼキエル38章・レバノン崩壊・リビア情勢 -

<https://youtu.be/AcrWHNG2Ouo>

さて、皆さんと一緒に過ごすことを、超楽しみにしています。今日のアップデートは、とても、とても素敵で、明るい話題から始めます。主要メディアが絶対に見せない内容です。ですからお付き合いください。

今から、画面でご覧いただきます。2枚の写真を見ていただきたいと思います。実際には、まずこちらを非表示にして…、ご覧いただいているのは、保育器に入っている生後10日の赤ちゃんです。この子はシリア人の赤ちゃんで、シリア出身のシリア人家庭の子です。彼らはキプロスに逃げ、今、彼らは基本的にキプロスに亡命中です。この赤ちゃんは生まれてすぐ、緊急心臓手術の必要がありましたが、全コロナウイルス制限のため、彼はどこにも行けず、イスラエルのシェバ医療センターが、彼に3つの異なる手術を施す事を志願しました。私たちは、彼をイスラエルに搬送し、最初の手術は成功。あと2つ残っています。これは、小型飛行機に乗っていた医師がこの子を診察し、経過観察していた時の写真です。すでに最初の手術が終わり、あと2回あります。これぞイスラエルの本領発揮です。この子はシリアのイスラム教徒の赤ちゃんで、イスラエルの医師たちが、この子の命を救いました。現在、3つの手術のうち、最初の手術から回復中です。私たちは、手術完了する頃には彼が元気になるように祈り、望みます。ご覧ください。私たちは、この10年も繰り返されている内戦の間に、軽症から重症者まで、何千人ものシリア人の手当てをしてきました。彼らは文字通り理解しているのです。彼らがゴラン高原のイスラエル側に行けば、私たちは、彼らを撃つのではなく、実際には彼らを保護し、救急車に乗せて、彼らをイスラエルの病院に搬送し、手当てをする事を。ですから、皆さんに言うておきますが、これが全ての目的です。そして、私は、こういうことを行う我が国を、大変誇りに思っています。ということで、この素晴らしいニュースから始めることができ、非常に喜ばしく、またこの赤ちゃんの状況についての続報をアップデートできればと思っています。



すでに最初の手術が終わり、あと2回あります。



巻き添え被害はなく、他に誰も怪我人はいません。

しかしまた、お伝えしたいのは、この24時間の間にイランの民兵部隊に、多くの攻撃が行われています。ディル・アルズール近郊のアル・ブカマル付近の国境ですが、すべてがイスラエルの攻撃ではありません。皆さん、お伝えしますが、アメリカが、プレデター、UAV（無人航空機）を使用して攻撃を行いました。その中で何があったのか、一つお見せしましょうか？アメリカは「ニンジャ」（忍者）と呼ばれる新しいタイプのミサイルを使用しました。ミサイルはこんな感じです。これがニンジャ、R9Xです。繰り返しますが、これは…私の知る限りでは、爆発物はありませんでした。これは推進して行き、巻き添えなしで破壊します。だから車に向けると、運転手だけが殺され、それがまさに、シリアのアルカイダの指導者の一人に起こったことです。彼の車をお見せします。文字通り、昨日のことです。運転手と助手席に座っていた者は、二人とも指名手配されていたテロリストで、米国空軍の無人機が、目的通り、2人のテロリストだけを殺害しました。巻き添え被害はなく、他に誰も怪我人はいません。アルカイダのシリア支部のリーダーは今、残念ながら、彼にとって天国で彼を待っている72人の処女はいないことを悟っていることでしょう。しかし、それだけではありません。一週間半前、信じられないか

これは別の名前のアブデルマレク.. アブデルマレク・ドゥルデカルと雷ウのが彼の名前です。



これは別の名前のアブデルマレク.. アブデルマレク・ドゥルデカルと雷ウのが彼の名前です。

も知れませんが、皆さん、一週間半前、フランス軍が、信じられないことに、この男を殺しました。この男です。彼はアルジェリアのアルカイダのリーダーで、アフリカ西部のマリで捕まり、そこで彼は殺されました。これは別の名前のアブデルマレク…アブデルマレク・ドゥルデカルというのが彼の名前です。とにかく、彼は殺されました。それだけでは足りないとしたら皆さん、ちょうど昨日、別の「聖人」が、彼らにとって天国はないことを知りました。それはもちろん、この写真に写っているイエメン人です。この男はイランで訓練を受け、イエメンのフーシ派のドローン活動の全てを担当していました。ほぼ毎日、サウジアラビアを常に攻撃している、あれです。つまり、3人の過激派イスラム教徒テロリストが、この72時間のうちに、異なる軍隊によって殺害されました。かなりすごいことが、あちらで起きています。



さて、皆さんにご紹介したいのは、トルコで起こっている事です。物凄くはっきりさせておかなければなりません。“スルタン・エルドアン”と、私は呼びますが、彼が、制御不能に陥っています。ヨーロッパは何かと忙しいですし、アメリカは、アメリカ国内のことで何かと忙しく、ロシアは自分の問題で忙しいです。そこで、スルタンは好き勝手やっています。ここ数日の例を挙げてみましょう。1.イラク北部に、作戦室や司令部を立ち上げる為、防衛大臣を派遣しました。文字通り、彼らはイラクに入り、指令室を建設しました。これが国防大臣で、これは昨日からです。マスクをした私服姿の防衛相が、イラク北部で48時間前に始まった軍事作戦を実行しています。皆さん、私はシリアの話をしているのではなく、リビアの話をしているのでもありません。今は、イラク北部の話をしているんです。彼らはPKK（クルド労働者党）を標的にしています。トルコのF-16（戦闘機）によって、83の標的がすでに破壊されています。そして彼らは、クルド人をノンストップで叩き続けています。彼は誰も何も言わない、誰もいないことを知っています。そして、これがまさに起こっていることです。それだけでは足りないとしたら、皆さん、同じ防衛大臣が、軍艦であるフリゲート艦を武器を満載した民間貨物のトルコ船を護衛するために派遣しています。さて、もちろん、あちらでは武器を送るのは違法です。そこで彼らが何をしているのかというと、誰もその船をチェックしたり検査しないように、そのフリゲート艦を、民間船の隣に行かせるのです。EUは苦情を言いましたが、当然ながら何もしていません。彼らは何もできません。彼らは非常に弱く、ある意味非常に情けなくて、トルコはやりたい放題です。トルコは、リビア軍を人、武器、航空機で武装させています。トルコは、イスラエル、ギリシャ、キプロスから西ヨーロッパに向かうガスパイプラインを遮断する通路を作ろうと決断しています。トルコは、トルコからずっと中間部までと、リビアからずっと中間部までの通路を作り、基本的には、ガスパイプラインが通らないような障壁を作りたいと考えています。それでも足りないなら、皆さん、今から私が言うことに、おそらくショックを受ける人がいるかも知れませんが、そして、このアップデートの最後にエゼキエル書38章に結びつけます。それと…エゼキエル38章の戦争に。

皆さんにお伝えしたいのですが、ここ数日、トルコの空軍、地上軍、海上軍の軍事行動が行われました。実際、軍事行動を見る限り、トルコ海軍は、5月27日から28日までの間に山ほどの…25隻の船を使用していたことが分かっています。彼らはエーゲ海と地中海東部で、巨大な訓練をしました。今、皆さんは、おそらく思っているでしょう。「彼らは、そこで何をしているのか？」これはイラクではなく、シリアでもなく、リビアでもありません。なぜ、ギリシャ近辺に彼らは、そんなに大勢でいるのでしょうか？今から私が明かす事は、恐らく、多くの方が聞いたことがないでしょう。トルコは、信じられないかもしれませんが、ギリシャを侵略して乗っ取る、秘密の計画を立てています。トルコのスルタンが、オスマン帝国の復興を望んでいることを理解しなければなりません。領土的にも、そして支配力の面でも、最終的には、世界の大部分を自分が支配したいのです。また、お伝えしたいのは、私は、2014年6月に流出した文書入手しました。さて、なぜ、私が2014年の話をしているのか理解出来ないかも知れませんが、皆さん、記憶を呼び起こして、2014年のことを思い出してください。お見せしましょう…2014年、基本的にすべてが、トルコの将軍によって準備されていました。この計画は、2014年に用意され、また、この特定の文書が、2016年に発見されたことも分かっています。2016年のクーデター未遂事件を覚えていますか？エルドアンはそれを知って、逃げました。2016年に、クーデター未遂事件があって、そのクーデター未遂の間に、誤って…だと思いますが、書類が流出したのです。それは数十枚のスライドを使ったパワーポイントのプレゼンテーションで、それらの書類は、ト

トルコの首都の裁判所のブリーフケースの中から発見されました。おそらく、エルドアンの大佐の一人が、裁判所に提出した書類から、その書類を取り出すのを忘れていたのでしょう。ですから、基本的に、それは法廷で発見されたのです。これが極秘事項だった為、取り出すはずであったのを、誰かがそれをし忘れたのです。今話しているトルコの将軍同士のメールのやりとりは、厳重に管理された、メールサーバーで行われていたのです。繰り返しますが、それが、クーデター未遂と、あちらで起こっていた様々な事のためにリークされました。書類は法廷に提出され、誰かが、それらの秘密のファイルを削除するのを忘れて、これらは発見され、その後すぐに、特定の新聞社にリークされました。もちろん、エルドアンは、その話をする者は誰でも殺すでしょう。しかし、私がこの全てをお伝えしている理由は、すでに、計画が再び動き出していると思っているからです。私が思うに、トルコはギリシャを弱体化させ、必要であればギリシャにまで侵攻する決意をしています。エーゲ海や地中海東部での作戦は、イスラエルを侵略するためのものではなく、リビアを侵略するためでもなく、イラクやシリアを侵略するためのものでもない、私は信じています。だからこそ、ギリシャはイスラエルを必要としているのです。ギリシャの首相は、明日、イスラエルに飛び、来週には、キプロスの首相がイスラエルに飛んできます。彼らは、観光や経済面だけでなく、軍事面でもイスラエルとの関係を強化したいのです。もはや、ガス管だけではありません。彼らは、トルコが何かをした時には、イスラエルが彼らのために、そこにいることを望んでいます。そこで一言言わせてもらえば、ギリシャはEUに属し、キプロスはEUに属していますが、EUが助けてくれないことを、彼らはすでに知っています。彼らはすでに、それを知っています。トルコは、既にキプロスに多くの悪いことをしましたが、EUは、トルコに何もしませんでした。EUはトルコを非難するために、指一本動かさませんでした。なぜ？トルコが、EUを脅しているからです。EUが大人しくしていないなら、彼らは、トルコの領土からEUの領土へ、さらに多くの移民をどんどん放出する、と。向こうでは、いろいろなことが起きていますが、皆さん、覚えていてください。エルダンの目的は、イスラエルの破壊だけではありません。彼は巨大な土地の塊を乗っ取り、影響力を生み出して、オスマン帝国時代を取り戻すことを目指しています。それが、彼の全目的です。

覚えていますか？イランは、イスラエルを破壊することだけが目的ではありません。イランはイラクを支配したいし、イランはシリアを支配したい。イランはレバノンの支配を続けたいと思っています。それについては、後ほどお話しします。イランは、ただイランに留まって、イスラエルの存在を消そうとしているわけではありません。彼らは止めません。イスラエルが、今日、もし存在しなかったとしても、イランは止めません。彼らの最終的な目標はサウジアラビアを破壊し、イスラム教の聖地を乗っ取り、シーア派イスラム教徒の全世界を作ることだからです。皆さん、それを理解する必要があります。彼らが、イスラエルを破壊しようとしている事にとらわれがちですが、それを、はるかに超えています。

次に、レバノンに行く前に、レバノンで起こっている事は、後でお話ししますが、ヨーロッパとイギリスで起こっている事をご紹介したいと思います。そうすれば、なぜ彼らは、今の時点で中東を相手にしている時間がないかが理解出来るでしょう。まず第一にイギリスで…皆さん、ジョージ・フロイドの記憶が、非常に多くの人を乗っ取っています。ブラックライブズマターがそれを乗っ取り、アンティファがそれを乗っ取り、そして今や、誰もがそれを乗っ取っています。そこで、皆さんにお伝えしたいのは、5月25日に、事件が発生した時、それは、すでに、非常に過激な組織を捕らえました。不意打ちではなく、よく準備された状態で。彼らが必要としていたのは、ずっと以前から計画していたことを、「実行せよ」との命令だけでした。…見てください。アンティファの行く先々であんな風にレンガが登場する事はありません。これは、よ

く組織化された計画的な作戦方法、作戦モードです。さて、これは、アメリカの話ではありません。誰もが、すでに、アメリカの話はしています。でも、これからお話しするのは、イギリスのことです。イギリスで、30の都市から60個の記念碑を撤去する為によく準備され、大量の資金をかけた運動がありました。30の都市から60個の記念碑です！彼らが全員、奴隷所有者だとか奴隷商人だとか、全部非難されました。そして、もちろん、いつの間にかウィンストン・チャーチルの記念碑まで来ていました。今は、再び破壊されることを恐れて箱に入って額装されています。言うておきますが、彼らは、歴史を変えようとしているのです。彼らは歴史を変え、すべてを変えようとしています。とても興味深い事に、今では、誰もが奴隷の所有者であり、誰もが奴隷商人です。すべてが人種差別で、どの映画も人種差別的で、全ての番組…。見てください。「フレンズ」という番組でさえ、人種差別だからと削除しようとしています。「風と共に去りぬ」はHBOボックスから外されました。本当に狂っています。そしてその狂気が、はるかイギリスに移ってきて、今見ているのは…今、イギリスでは、言うておきますが、それを我慢しないイギリス人がたくさん

いて、多くの国家主義者のイギリス人が、狂人たちが国を乗っ取り、歴史を変えようとするのを、ただ傍観するような事をしていません。その為、昨日は、国家主義者と左派・自由主義急進派の間で衝突がありました。...大量の血が流された出来事の一つは、トルコを除けば、昨日のロンドンの路上です。この(写真の)負傷している人は、国家主義者です。しかし、私が言えることは、イギリス人は黙っていません。しかし、私に言えるのは、アメリカの民主党に相当する労働党が、これを全部利用しているのです。彼らは、このすべてに喜んで飛びつき、そして、それを助けているのです。なぜなら、政治支配層は、常に、こういった事を、何とか^{あお}煽る必要がありますから。まさに、アメリカで民主党がやっているように、イギリスでは、労働党がやっています。



...大量の血が流された出来事の一つは、トルコを除けば、昨日のロンドンの路上です。

さて、信じられないかもしれませんが、今ヨーロッパで起きていることは、それだけではありません。皆さんご存知のとおり、フランスは、大量の移民を受け入れていて、フランスは、すでにイスラム教徒の人口が増え続けています。パリでの暴動は、既に、残念ながら私たちは見慣れてしまいました。しかし、皆さん、今、ヨーロッパのフランス、ディジョンの街に新しい「ホットスポット」が登場しています。ディジョンマスタードは、ディジョンに由来します。ディジョン市には、イスラム諸国からの移民が増えています。全員がアラブ人というわけではありません。信じられないかもしれませんが、アラブ人もいますし、モロッコ人もいて、また、チェチェン人もいます。彼らは、旧ソ連のチェチェンという地域のイスラム教徒です。彼らは今、「ジョージ・フロイドの怒り」に便乗して、ディジョンの街の支配権をめぐる、彼らの間で衝突し始めています。皆さん、フランスは今、異なるイスラム教徒のグループが、彼らの間で、その支配を巡って、戦う場所になりつつあるのです。彼らはもう、そこへの移住を通り越して、今は第2局面にあり、乗っ取りの準備ができています。そして興味深い事に、フランス人は恐怖に怯えて



その中で、フランスの人が、あまりにも恐れていて、この全ての中を、急いで運転しています。

ていて、家に隠れているフランス人の動画を、ずいぶん見ましたが、1本だけご紹介しましょう。動画を1本紹介します。その中で、フランスの人が、あまりにも恐れていて、この全ての中を、急いで運転しています。彼に何が起きたか、観てください。【動画】アッラーフ・アクバル！ アッラーフ・アクバル！ここはフランス、皆さん、ディジョンの街ですよ。今ご覧になったのはシリアでもないし、レバノンでもなく、イラクでも、イランでもありません。これは西ヨーロッパで、今、彼らが経験していることです。

さて、私は今週初めにツイートしました。非常に多くのロシア人が、勤勉が報われることを理解して共産主義からアメリカに逃がれて来ました。彼らは一生懸命働き、お金を稼ぎ、生活も充実していて、だからこそロシアから逃げ出したのです。興味深いと思いませんか？今、多くのアメリカ人が、アメリカが共産主義になる事を願っているのです。どうして？“努力”が報われるからです。つまり、彼らは仕事をしたくないのです。彼らは、役に立つことをしたくないのです。彼らは、すべてを与えて欲しいのです。だからシアトルの街の一部を乗っ取って、要求リストを持っているのです。彼らは、必要なもののリストを持っています。向こうの地域からの最新の報告によると、彼らは、それをCHAZ（キャピトルヒル自治区）と呼んでいます。最近聞いた話では、彼らは他人の家の中に押し入り、欲しいものを渡さないと、家を破壊するのです。共産主義へようこそ。この政権へようこそ。気をつけないと、アメリカ全土に広がりますよ。それがベネズエラであり、これがキューバであり、もちろんこれが中国のなせるわざです。つまり、共産主義は専制政治であり、働きたくない、毎日大麻を吸いたい、何もしたくないという人にとっては、それが一番の解決策です。私がこれをお伝えしている理由は、これです。今から、レバノンで起きている事をお見せします。



あちらでは、人々が飢えています。それは確かです。

次は、レバノンに移動します。レバノンでの暴動は、ジョージフロイドとは何の関係もないことを、理解してほしいのです。働きたくない人たちとは、何の関係もありません。一日中マリファナを吸って、政府をバッシングしたいだけの人たちとは何の関係もありません。いいえ。レバノンの暴動は違います。レバノンの暴動は、食料がないからです。彼らの政府が腐敗しているからであり、テロ組織ヒズボラが、彼らの人質にしたからです。そして、彼らが必要としている食料を、実は、ヒズボラが、シリアの支援を維持するためにシ

リアに送っているのです。今、皆さんにお見せします。レバノン人が、彼ら自身の軍隊と衝突しているのです。食べ物がないから！あちらでは、人々が飢えています。それは確かです。この衝突を見てください。これらは、シリアに向かっている食料を満載したトラックです。左側の青いトラックが見えますか？軍は自国民と衝突しています。これらはレバノンでの衝突で、レバノン人が本当に激怒していることを、お見せしましょう。レバノンから入手した、非常に多くの暴動の写真をみてください。さて、若者たちが、ご覧の通り、今燃えているものと一緒に自撮りしています。しかし、勘違いしないでください。こういう若者が何でも燃やしているのは、彼らが、甘やかされた悪ガキだからではありません。レバノンで起きていることは、彼らがヒズボラにうんざりしている為です。前にも言いましたが、思い出してください。これは前代未聞です。レバノン人、国民は、自分たちの政府に言っているのです。「ヒズボラが問題だ！イスラエルではない！」「ヒズボラの武装解除しろ！我々がもう一度自国を支配するのだ！」レバノンは、ほとんど何も生産しません。レバノンは、アラブの他の地域から多くの富裕層がやってくる場所でした。理解してください。レバノンは、かつて、美しい所で、ベイルートは、かつて「中東のパリ」でした。皆さんにお伝えしたいのは、シリアの内戦が始まって以来、ヒズボラは活発になって、非常に積極的にシリアに投資してきました。レバノン人は今では、完全に何らかの形で、望んでいないのに、シリアと繋がっています。すべては、イランの支援下でのことです。イランは、イランからイラクとシリアを経由してレバノンに至るまで、三日月を作りました。それが、シーア派の三日月地帯です。後でお話ししますが、今朝の時点でイランの通貨は暴落、1ドルあたり19万リアルと大暴落しています。シリア・リラム暴落し、レバノンの通貨も暴落し、イランに関連する、すべてが暴落しています。それでも足りなければ、アメリカは今、アサドの大量虐殺に協力している企業や個人に、制裁を課しています。ですから、ヒズボラと、シリアに投資しているレバノン企業は、皆、苦しみます。「シーザー法」と呼ばれるものです。皆さん、レバノンが次々と叩かれているのはイスラエルのせいではなく、イスラエルとは何の関係もありません。それはヒズボラのせい、それとイランのせいです。私たちは今、目まぐるしいことがたくさん起きているのを見ています。ヒズボラは、イランからの資金とレバノン国民の支援がなければ、あまり長くは生き残れません。今、イランは大混乱していて、お金がなく、レバノン人は今、ヒズボラを自分の領土に入れたくありません。これは大ニュースです。今見ているのは、以前とは違って、レバノンが、崩壊しつつあることです。もうレバノンの信用度は、ゴミみたいなものです。それはもう、言わば破産と呼ばれる状態です。レバノンは、誰にも借金を返すことはできません。レバノンは、ほとんど機能していません。ヒズボラは、イランと同じように、全ての手の内を隠して国民もそれを知っています。国民は怒っていて、国民はヒズボラのトップであるハッサン・ナスラッラーの写真をすべて燃やし、そして彼らは、イランを呪っているのです。イランです。イスラエルではありません。彼らは理解しています。以前、お伝えしましたが、彼らは言っています。「イスラエルとの戦争があれば、世界が注目してくれる。」「イスラエルが嫌いだからではなく、イスラエルとの戦争があった時だけ世界が見てくれて、注目されるから。」しかし、彼らは私たちとは、何もありません。不幸にも、イスラエルとの戦争だけが、唯一注目される方法であることに、気付いているのです。だから、「それなら、やりなさい。」と。皆さん、彼らはもう、それすら言わなくなりました。彼らは、ただ言います。「ヒズボラを武装解除しろ。悲惨なことになっている！」私がこれを言っている理由は、シリアが崩壊したからです。レバノンは崩壊しつつあります。ヨルダンがイスラエルと和平を結んでいて、彼らは、その和平を手放したくありません。それが、今の彼らの、唯一の平和な国境ですから。エジプトがイスラエルと和平を結んでいて、彼らは、それを手放したくありません。イスラエルはエジプトを助けています。エジプトの大きな問題は水不足と、リビア側からやってくるペテン師たちです。だから残っているのは、イスラエルに隣接する国境はすべて、我々が和平を結んでいる国との間か、あるいは、ほとんど存在しなくなった国との間です。だからこそ、詩篇83篇とエゼキエル書38章に関する私の立場を理解していただきたいのです。



詩篇83篇は、すでに成就されていて、エゼキエル書38章は、成就されていません。周りのアラブ諸国が、私たちの完全破滅を望んでいた時期から、私たちを必要としている時期へとフルスイングしました。彼らは私たちと和平を結び、私たちを必要としていて、彼らの国の中で、私たちは、もはや大問題と見なされていません。シリア人は、我々が彼らを助けることを理解していないと思いますか？レバノン人は、ヒズボラが自分たちの問題であって、イスラエ

ルではないことを理解していないと思いますか？ヨルダンとエジプトは、イスラエルとの和平が戦略的にも重要だと思っていないでしょうか？ 思ってます！皆さんに見てほしいものがあります。見てください。これは、詩篇83編に描かれているすべての地図です。...よろしければ、その詩篇を表示しましょう。

「神よ 沈黙していないでください。黙っていないでください。神よ 黙り続けしないでください。(1節) ご覧ください。あなたの敵が騒ぎ立ちあなたを憎む者どもが頭をもたげています。(2節) 彼らは あなたの民に対して悪賢いばかりごとをめぐらしあなたにかくまわれている者たちに悪を企んでいます。(3節)」(詩篇83篇1節から3節)

そして彼らが言ったことを見てください。

「彼らは言っています。『さあ 彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。』(4節)」

ヨルダンは、そう言っていますか？いいえ！エジプトは、そう言っていますか？いいえ！今のレバノン、そんなことを言っていますか？ いいえ！シリアはそう言っていますか？いいえ！そして、これらはまさに今、私が言及した国々です。エドム、イシュマエル、ゲバル(ビブロス)、アモン、アマレク、ペリシテ、そしてツロと、アッシリヤもまた、彼らにくみし…これらの国は全部、まさに詩篇を画面から外して、1948年の独立戦争の図を出しましょう。詩篇83篇が言及している国が、すべて、イスラエルに攻めてきました。何のために？私たちを破壊するために。

「イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」(詩篇83:4)

侵略は、戦利品を奪う目的ではありませんでした。侵略は、略奪目的ではありません。私たちに、彼らに与えるものは何もありませんでした。侵略は、イスラエルが強くて安全で繁栄していた時ではありません。違います。1948年の侵攻の目的は、たった一つ。



「さあ、彼らの国を消し去ってイスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」(4節)

なぜ？ベン・グリオンが、まさに、新生国家の名は「イスラエル」だと宣言したからです。したがって、「イスラエル」の名を消さなければならない！それが詩篇83篇です。彼らは、1967年にそれを繰り返そうとし、もちろん、ヨルダンもその一翼を担っていました。1973年には、それはもう、ありませんでした。1948年と1967年は、詩篇83篇が語っている我々の周辺諸国による試みで、私たちが何もしなくても、私たちを完全に滅ぼそうとしたのです。だからこそ皆さん、理解することが重要なのです。私たちは、その戦争中のイスラエルの敵について、聖句に書かれていることを勉強しなければなりません。そして、これを理解しておくのは、極めて重要です。エゼキエル38が起る時、それは、我々に隣接する国々が、イスラエルを滅ぼしに来る事を、言っているわけではありません。

「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」(詩篇83:4)

違います。エゼキエル書38章は、イスラエルが安全、安心、繁栄している時で、(11節参照)誰であれ、攻めて来るのは、我々が「イスラエル」だから滅ぼそうとするものではありません。略奪し、盗み、戦利品を取ることが目的です。

(12節参照)その戦争の目的について、エゼキエルが言っているのは、まさにそういうことです。そこで私たちは、皆さん、フルスイングをしたのです。この地で、我々が国として生まれただけであった詩篇83篇から、エゼキエル書38章へ。そこでは、彼らはもう、私たちを、ここから全滅させようとはしていません。彼らは知っています。見てください。ロシアは、イスラエルを破壊したいのではなく、彼らは、私たちが持っているものを奪いたいのです。トルコは、必ずしもイスラエルを破壊したいのではなく、彼らは占領し、我々が持っているものを奪いたいのです。イランは、そう、イスラエルを滅ぼそうとしていますが、私に言わせれば？サウジアラビアを破壊することが、実は彼

らの主な目標なのです。仮に、イスラエルが存在していなくても、彼らは、おとなしく座っていませんよ。それは彼らの目標ではありません。皆さん、理解してください。2つの戦争は、彼らの目的の核心が違うのです。1948年のイスラエル人は、明日をも知れぬ身でした。私たちには分かりませんでした。1948年、国民のほとんどがホロコーストの生存者で、翌週、イスラエルが存在するかどうか分かりませんでした。どうして？私たちの周りの国々が、私たちの完全破滅を願っていたからです。そして、彼らには、その能力があったのです。こんにち、ヨルダンが我々に対して何かすると思いますか？シリア？シリアが存在していると思いますか？レバノンが、今、イスラエルに手を出すと思いますか？そこで何が起きているか知っていますか？エジプトの、現在の主な目標が、イスラエルに攻め込むことだと思いますか？皆さん、理解してください。詩篇83篇は、起こりました。エゼキエル38章が、これから起こります。そして今、私たちは、歴史の中でイスラエルが土地に戻りその名を回復した段階にいるのです。イザヤ書66章が告げる通り、国家は、この地に戻りました。「**国は一瞬にして生まれるだろうか**」(8節)そして、皆さん、これもまた覚えていてください。イスラエルは強く、安全で、繁栄しています。今はロシアが入ってきて、こちら側からはトルコとイラン、そちら側からは、スーダンとリビア。皆さん、お伝えしますが、エゼキエル書を読んでいると、ゴグへの批判は「ああ、イスラエルを滅ぼして、国家を絶つために来たのか？」いいえ。批判は、「おまえは分捕るために、獲物をかすめ奪うために、略奪するために来たのか？」(13節参照)それが批判です。ということで、我々はこれらを見ています。私が今、これらの点と点を結びつけたのは、皆さんが理解する為です。今のレバノンの崩壊、現在のシリアの崩壊、それから、我々がすでに結んでいるエジプトとヨルダンとの和平が、イスラエルと隣接する敵が、もはや我々に敵対している段階ではない証拠です。我々は今、第2段階に入り、イスラエルは強く、安全で、繁栄しています。今や、敵は他の国々で、大国、超大国、今や敵は帝国です。それはペルシャ帝国であり、オスマン帝国であり、ロシア帝国で、この3人の一人一人が、帝国の日々を取り戻したいと思っています。ですから、理解してください。私は、よく聞かれます。「アミール、携挙は、エゼキエル戦争の前に起こりますか？それとも、エゼキエル戦争の後に起こると思いますか？」私は、いつも言いますが、もし、私が携挙がいつ起こるか知っていたら、それならそれは、聖書的ではありません。私が知っているのは、反キリストの台頭を私たちがここにいて見る事はない、という事。また、私が知っているのは、テサロニケ第二の2章によると、引き止める者が取り除かれられない限り、彼は台頭できないということです。(7節参照)そして私が知っているのは、エゼキエルのような戦争が無ければ、反キリストが登場して、偽りの平和をもたらすことは、出来ません。ですから、自分で計算してみてください。ダマスカスが破壊された時か、またはエゼキエルの戦争に入った時、もしくはその直後か。一つだけ確かなことは、平和がもたらされ、神殿が建てられる時、私たちはここにいません。私たちは、ここにいて第三神殿を見る事はありません。私たちは、ここで反キリストの顔と正体を見る事はありません。私たちは、大患難の時、ここにいません。これが、確かに聖書的に知っていることの一つです。ですから皆さん、元気を出してください。皆さん、神が完全に支配しておられます。激しい狂気の沙汰が続いていますが、今、我々が見ている狂気の沙汰は、私たちがここを出た後、この世が経験する狂気の沙汰のほんの前兆に過ぎません。「悪を善、善を悪、闇を光、光を闇」という人たちの妄想的な考え方です。(イザヤ書5:20参照)私たちは今、それを見ていますが、それでもまだ、圧倒的に、サイレントマジョリティー(沈黙する多数派)です。私は分かります。もし、オクラホマ州タルサでのトランプ集会に、百万人近くが参加を希望したなら、アメリカの全員が、ブラック・ライブズ・マターに賛成しているわけではないと分かります。アメリカが、全て「反・警察」ではないことも知っています。これは事実として知っています。また、イギリスには、今あちらで起きている事に反対するイギリス人が、十分にいることも知っていますし、フランスにも、反対する人が十分にいることも知っています。しかしその日が来て、我々がここを出たら、神が、強い感わす力を送られ、それで終わりです。(テサロニケ第二2:11参照)皆、その嘘に騙されます。”サイレントマジョリティー”(沈黙する多数派)はいません。いいえ！義人は取り除かれて、どちらかと言えば、“サイレントマイノリティ”(沈黙する少数派)になるでしょう。なぜなら、私たちは知っています。大患難の最中、獣のしるしを受けない人がいる事、ある者は逃げ、イスラエルは逃げます。私たちは、それを知っています。しかし、それはごく少数です。しかしこの時点では…。私たちは、思い出さなければなりません。今日の私たちの仕事は、地の塩となり、世の光となり、引き止める者になることです。私たちの内にある聖霊によって、私たちは引き止める者です。したがって、すべてが間違った方向には行きません。私たちがここから出た途端に、すべてが一気に悪化します。ですから、私たちは、超ワクワクするべきです。神が、私たちと我々の存在を用いておられ、そして今、私たちには、人々に福音を伝える力があります。オンラインでも、物理的にも福音を伝えるのです。「ゴスペル」を。聖書は言います。「**宣べ伝える人がいなければ、どのようにして知るのでしょうか？**」(ローマ10:14参照)私たちは、彼らに伝えなければなりません。私たちは、世界に伝えなければなりません。ほら、私は確かに知っています。私たちのYouTubeチャンネルや、Facebookペー

ジを見ている人たちの中には、異なる環境、イスラム教、ヒンドゥー教や仏教などの環境にある人たちが、何十万人もいることを知っています。ほんとうに、今こそ福音を伝えられる最後のチャンスかもしれません。その福音によって、いのちを救い、たましいを救い、敵の恐ろしい欺きから抜け出せるのです。そして、すべての理解を超えた平和を与え、打ち勝つ能力も与えられます。だから私は、すべての人を励ましたいと思いました。見てください。聖書は、現在起こっている事のすべてを説明しています。教会で起こっている事、世界で起こっている事、イスラエルで起こっている事を、説明しています。しかし70週目、最後の週、7年はすべてイスラエルのためにあります。それは、私たちのためではありません。ちょうど69週が、すべて、イスラエルのためにあったように。今は、第69週と第70週の狭間にいます。今は教会時代ですが、もうすぐ終わりを迎えます。ドアが閉まりかけていて、私たちは、もうすぐここを出て行きます。だからこそ、今まで以上に、一人でも多くの人に福音を伝えることが大切なのです。何もあなたを救うことはできません。あなたの教育も、政府も、軍隊も、宗教も、あなたを救ってくれません。あなたは、永遠の命を与えられるほど善人ではありません。誰もいません。

「神は天から人の子らを見おろして、神を尋ね求める、悟りのある者がいるかどうかをご覧になった。善を行う者はいない。ひとりもない。」（詩篇53:2-3）

それが、神のおっしゃることです。だから、あなたは、自分を良い人として数えるかもしれません。しかし、あなたは罪びとであり、2000年前の十字架でのイエスの完成した御業を信じるなら、恵みによってのみ、救われるのです。もし、あなたが心で信じて口で告白し、あなたが心を変えて、自分は罪びとだから、自分には救い主が必要なだと理解するなら、そして永遠のいのちを求め、あらゆる欺きからの脱却を望むならば、私はあなたをお招きします。今日は救いの日です。明日では遅すぎるかもしれません。あなたが罪びとであることを認め、信じ、そしてもちろん、聖霊をお招きして新しい人生を生きてください。神は…もし神が、「古い人」が良いと思っていたら、「新しいいのち」をお与えにはならないでしょう。神は、私たちに、新約聖書をお与えにはならなかったでしょう。神は、私たちに新しい心、新しい霊をお与えにはならなかったでしょう。神は新しい天、新しい地、新しいエルサレムを創造されないでしょう。しかし、創世記3章の人間の墮落以来、変わり果てたこの世には、新しいものが必要なのです。そして、それはまさに、私たちが主を必要としている理由であり、道があるのです。道は一つ、真理は一つ、いのちは一つです。それは、ご自分を無にして、私たちとともに生き、私たちのために苦しみ、死ぬために、はるばる来てくださった方です。そして、イエスは復活しました。死は、主を引き止めることができなかったのです。だから、主は、復活の力まで私たちに与えてくださり…それは、無限のいのちの力で、それを私たちは持っているのです。無限のいのち、です。ほら、イエスが仰ったのです。

「わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。」（ヨハネ11:25~26）

これは、携挙についての記述です。

「まず、キリストにある死者がよみがえり、それから生き残っている者が、一挙に引き上げられ…」（テサロニケ第一4:16~17参照）この2つが、信者にとっての選択肢です。死んで復活するか、生きたまま空中に引き上げられるか。美しい、素晴らしい、何を失うことがありますか？残念ながら、私は見えて、黙示録を読むたびに思うのですが、それを経験したいとか、経験しなければならぬと考える人がどうしているのか、理解できません。ほら、私は黙示録の9章を見ていたのですが、この箇所ですべてを伝えることが、なぜ、私にとって非常に重要であるか、分かるでしょう。9章6節には、こうあります。

「その期間、人々は死を探し求めるが、決して見出すことはない。死ぬことを切に願うが、死は彼から逃げて行く。」（黙示録9:6）

うわ。それは、私たちが望んでいることではありません。これは、私たちのためではありません。それは私たちの姿ではなく、死は、今、私たちが対処すべき事ですらありません。だから、私は皆さんを励ましたいのです。中東で何

が起こっているのか、いろいろと話をしました。今、預言的なタイムラインのどこなのか、という話をしてきました。しかし、肝心なことは、「信じればあなたは救われる」。

お父様、あなたのみことば、そしてあなたの約束を本当に感謝します。このアップデートを見て、今夜、あなたに信頼を置く決意をした全ての人の心の中に入り、清め、聖霊を与えて、新しく創られた者、一人の新しい人間にしてください。感謝します。そしてあなたは、その人に新しい人生と、豊かなのち、すべての理解を超える平安を、与えてくださいます。イエシュアの御名において祈ります。アーメン。

皆さんにお知らせです。2つの新しいことを始めます。世界各国からのズーム祈禱会を試してみます。参加したい方はどなたでも、週に一度、一時間の祈りをする予定です。世界中から参加することができます。ズームで参加されると、私たちからも、あなたを見ることができます。もしくは、私たちのYouTubeチャンネルでライブストリームをご覧いただく事も可能です。それから、若い人のために毎週、または隔週のミーティングを始めます。その年齢層には、大きな敵の攻撃があると思います。今、世界中でデモをしているほとんどが、この年齢層です。敵にだまされている年齢層です。彼らに真実を伝えたいのです。私たちは、彼らの質問に答え、彼らと一緒に祈りたいと思っています。それで、これから数日の内に、開始予定日を発表します。毎週行いますので、国別ではなく、皆さんをご招待しています。全員大歓迎です。私たちからも見えるZoomで見るか、もしくはYouTubeでライブストリームで見ることができます。皆さん、もしまだ私の本、「TheDayApproaching」と「TheLastHour」をご購入されていないようでしたら、お忘れなく。どちらも今日話したことの多く、神の時系列に関することと、終わりの日における、イスラエルの役割に関して伝えています。

では、アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 英語)

平和の主である、平和の君からしか得られない、あらゆる理解を超えた平和、今ここに、そして永遠に、その平安を与えることがお出来になります。

主の御名イエシュア、主の御名によってお祈りします。

アーメン。アーメン。

ありがとう、God bless you !!

私たちのソーシャルメディアをお忘れなく。また、私たちの週刊ニュースレターをご登録いただけます。私たちのウェブサイト、beholdisrael.orgにアクセスしてください。YouTube、Facebook、Instagram、TwitterもBeholdIsraelをよろしくお祈りします。ありがとうございました。

God bless you !!!

イスラエル、ガリラヤから、シャローム。皆さん、さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>